

高知県立大学，兵庫県立大学，東京医科歯科大学，
千葉大学及び日本赤十字看護大学の
5大学災害看護コンソーシアム

履修の手引

令和3年度（2021年度）

高知県立大学

兵庫県立大学

東京医科歯科大学

千葉大学

日本赤十字看護大学

高知県立大学，兵庫県立大学，東京医科歯科大学，千葉大学及び
日本赤十字看護大学の5大学災害看護コンソーシアム履修の手引き

目次

5大学災害看護コンソーシアムに関する協定に基づく単位互換制度について.....	1
5 大学災害看護コンソーシアム科目一覧	4
高知県立大学.....	5
兵庫県立大学.....	9
東京医科歯科大学.....	12
千葉大学	21
日本赤十字看護大学.....	25
 コンソーシアム科目シラバス.....	 31

高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学の5大学災害看護コンソーシアムに関する協定に基づく単位互換制度について

1. 制度の概要

高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学は、これまでの共同教育課程を礎に、それぞれ蓄積してきた資源を共有しつつ、強固な連携関係を継続するために5大学災害看護コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）を組織した。コンソーシアムは、各大学が、自主自立を尊重しつつ連携して、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、災害看護に関してその深奥を極め、人々の健康社会の構築と安全・安心・自立に寄与し、グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的としている。

これにより、高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学は、それぞれの大学の特色ある授業科目（以下、「コンソーシアム科目」という。）を提供することにより単位互換を実施し、5大学間の相互交流及び災害看護教育の充実を図ることを目指している。

2. 単位互換制度によるコンソーシアム科目の履修

(1) 履修できる学生

高知県立大学大学院看護学研究科、兵庫県立大学大学院看護学研究科、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、千葉大学大学院看護学研究科、日本赤十字看護大学看護学研究科に在籍する大学院生を対象とする。

(2) 学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」とする。

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

(4) 履修科目

特別聴講学生が履修できる授業科目は、別表の「授業科目一覧」のとおりとする。

授業内容の詳細については、各大学のシラバス、HPを参照する。なお、科目によっては履修の要件があるものがある。

(5) 履修計画

所属大学での履修計画等を十分考慮の上、無理のない履修計画を立てる。

(6) 履修期間

履修する授業科目が開講されている授業期間とする。

(7) 受入れ条件

学生を受入れる条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入れ学生数、各種日程等）については、それぞれの受入れ大学が決定する。

(8) 評価の方法

授業科目の評価（試験・レポート等）の方法については、受入大学の規則によるものとする。

なお、受入大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けてください。

3. 出願・履修登録手続

(1) 出願期間

5 大学災害看護コンソーシアムに関する協定書及び単位互換に関する申合せに基づき、特別聴講学生を志願する学生は、受入れ大学が定める所定の期間に手続を行う。

(2) 出願方法、提出場所

出願は、出願者が直接受入希望大学にて手続を行う。出願に際しては所属大学の指導教員と履修計画について相談の上、手続する。

出願には、受入大学が定める書類を提出する。

(3) 出願・履修登録手続書類提出期間

各大学の特別聴講学生募集要項等を確認する。

2021 年度の手続き期間は次のとおり

受け入れ大学	出願・履修登録手続書類提出期間
高知県立大学	学年または学期の始め 4 週間以内
兵庫県立大学	2021 年 4 月 8 日（木）まで
東京医科歯科大学	2021 年 4 月 6 日（火）～4 月 14 日（水）
千葉大学	2021 年 4 月 8 日（木）から 4 月 9 日（金）まで
日本赤十字看護大学	2021 年 4 月 12 日（月）～4 月 15 日（木）

(4) 出願書類提出場所

各大学の特別聴講学生募集要項等を確認する。

(5) 履修の可否

受入大学が定める方法により、履修の可否が決定される。

(6) 履修辞退手続

履修を辞退する場合には、受入れ大学に相談の上、所定の手続を行う。

4. 単位認定

受入大学からの成績通知に基づき、単位が与えられている授業科目については、所属大学の定める規定等により、単位を認定する。

5. 履修案内

(1) 協定大学の所在地と問合せ先

【高知県立大学】 高知県高知市池 2751-1

教務支援部 教育研究戦略課：TEL 088-847-8810

【兵庫県立大学】 兵庫県明石市北王子町 13-71

学務課：TEL 078-925-9613

【東京医科歯科大学】 文京区湯島 1-5-45

学務企画課 大学院教務第二係：TEL 03-5803-4534

【千葉大学】 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

亥鼻地区事務部学務課大学院係：TEL 043-226-2450

【日本赤十字看護大学】 東京都渋谷区広尾 4-1-3

学務一課：TEL 03-3409-0916

(2) 協定大学の時間割

【高知県立大学】

第1時限 8:50～10:20	第2時限 10:30～12:00
第3時限 13:00～14:30	第4時限 14:40～16:10
第5時限 16:20～17:50	

【兵庫県立大学】

第1時限 9:00～10:30	第2時限 10:40～12:10
第3時限 13:00～14:30	第4時限 14:40～16:10
第5時限 16:20～17:50	第6時限 18:20～19:50
第7時限 20:00～21:30	

【東京医科歯科大学】

第1時限 8:50～10:20	第2時限 10:30～12:00
第3時限 13:00～14:30	第4時限 14:40～16:10
第5時限 16:20～17:50	

【千葉大学】

第1時限 8:50～10:20	第2時限 10:30～12:00
第3時限 12:50～14:20	第4時限 14:30～16:00
第5時限 16:10～17:40	

【日本赤十字看護大学】

第1時限 9:00～10:30	第2時限 10:40～12:10
第3時限 13:00～14:30	第4時限 14:40～16:10
第5時限 16:20～17:50	

5大学災害看護コンソーシアム 科目一覧

【高知県立大学】

科目名	種別	単位数
災害看護活動論(準備期)	講義	2
環境防災学	講義	1

【兵庫県立大学】

科目名	種別	単位数
災害グローバル看護実践論	講義	2
災害看護フィールドワークⅠ	実習	1
災害看護フィールドワークⅡ	実習	1

【東京医科歯科大学】

科目名	種別	単位数
看護政策学特論	講義	1
災害看護学特論Ⅰ	講義	2

【千葉大学】

科目名	種別	単位数
災害マネジメント論	講義	1
災害看護活動論(復旧・復興)	講義	1
災害時専門職連携演習	演習	1

【日本赤十字看護大学】

科目名	種別	単位数
赤十字概論Ⅱ(国際人道法含)	講義	2
災害看護学特講Ⅲ	講義	2

令和3年度高知県立大学特別聴講学生（看護学研究科）出願要項

1 出願資格

5 大学災害看護コンソーシアムを形成する高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学のうち、高知県立大学以外の大学に令和3年4月以降に在籍し、各大学でコンソーシアム科目を受講可能と認められた学生

2 出願期間

出願期間： 学年又は学期の始め4週間以内

（「環境防災学」は、受講人数に制限があるため、9月17日（金）までに受講希望をご提出ください。）

3 出願手続き等

志願者が属する大学（以下「派遣大学」という。）は、下記の出願書類等を取りまとめ、高知県立大学長に願い出てください。

- (1) 派遣大学長が発行した出願許可書
- (2) 本学所定の願書

4 選考方法

派遣大学から提出された出願書類について審査を行い、可否を決定します。

なお、選考の結果については、派遣大学長あてに通知します。

5 在学期間

特別聴講学生の在学期間は、履修する授業科目の履修期間とします。

6 予定開講科目、単位数等

別紙「科目一覧」参照

7 授業料等

5 大学間の協定に基づき、検定料・入学料・授業料は相互不徴収とします。

それ以外に、履修する科目等の条件によっては、別途経費がかかる可能性があります。

8 授業期間

前 期 令和3年4月上旬 ～ 令和3年8月上旬

後 期 令和3年10月上旬 ～ 令和3年2月下旬

※各科目の開講日程詳細につきましては、別紙「科目一覧」及びシラバスを確認してください。

9 単位の付与

授業科目を履修し試験に合格した場合、所定の単位が付与されます。

【出願に関する問い合わせ、提出先】

高知県立大学教務支援部教務課

〒781-8515 高知市池 2751 番地 1

電話 (088) -847-8580

高知県立大学コンソーシアム科目一覧

科目名	単 位 数	種 別	概要	科目 担当者	開講に関する 情報
災害看護活動論(準備期)	2	講義	災害サイクルの静穏期における備えに関し、地域の災害対策システム、および地域、各種施設、行政等との連携も踏まえながら、発災を想定した事前の準備活動を整理し、平時から災害看護活動体制を構築していく方法を学ぶ。	山田 覚 木下真里 神原咲子	4月17日(土) 1～3限 4月18日(日) 1～4限 4月29日(祝・木) 1～4限 5月1日(土) 1～2限 6月5日(土) 1～2限 計15回 ・Zoomによる遠隔授業
環境防災学	1	講義	地球科学に関する幅広い知識を利用して、地域における開発・保全・防災・環境問題に取り組むための学術的基礎素養と、多様な場における問題解決に応用できる基礎的能力を身につける。	大村 誠	・後期前半の木曜4限(8コマ) ・Zoomによる遠隔授業 ・受講生は5名以内 ・使用言語は日本語(講義、資料)

(5 大学災害看護コンソーシアム学生用)

年 月 日

高知県立大学長様

所 属 (本務先大学)

(兵庫県立大学 東京医科歯科大学 千葉大学 日本赤十字看護大学)

氏 名

年 月 日生

特別聴講学生入学願

特別聴講学生として、下記のとおり履修したいので許可していただくようお願いいたします。

履修 希望期間	年度				
特別科目等履 修学生を希望 する理由	5大学災害看護コンソーシアムに基づく履修				
履 修 予 定 の 授 業 科 目 及 び 単 位 数					
学期	授 業 科 目	単位 数	学期	授 業 科 目	単位数
前・後	☐ 災害看護活動論 (準備期)	2	前・後		
前・後	☐ 環境防災学	1	前・後		
前・後			前・後		
前・後			前・後		
前・後			前・後		

※履修を希望する科目に☑を入れるか、記入をすること

令和3年度兵庫県立大学大学院看護学研究科特別聴講学生 募集要項

1 5大学災害看護コンソーシアムの概要

高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学は、各大学が、自主自立を尊重しつつ連携して、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、災害看護に関してその深奥を極め、人々の健康社会の構築と安全・安心・自立に寄与し、グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的として「5大学災害看護コンソーシアム」を結成しています。これにより、高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学は、それぞれの大学の特色ある授業科目を提供することにより単位互換を実施し、5大学間の相互交流及び災害看護教育の充実を図ることを目指しています。

2 出願資格

5大学災害看護コンソーシアムを形成する高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学のうち、本学以外の大学に2021年4月以降に在籍し、各大学でコンソーシアム科目を受講可能と定められている学生。

3 募集人員

各科目で別途定める

4 履修対象科目及び単位

科目名	単位数	種別
災害グローバル看護実践論	2	講義
災害看護フィールドワークⅠ	1	実習
災害看護フィールドワークⅡ	1	実習

5 履修期間

履修期間は、履修を許可された授業科目の開講期間とし、1年以内とします。

6 入学料及び授業料

5大学間の協定に基づき、検定料・入学料・授業料は相互不徴収とします。
ただし実験実習等に要した実費は、徴収します。

7 出願書類

①災害看護コンソーシアム特別聴講生許可願（本学所定の用紙）

＊カラー写真1枚（出願前3ヶ月以内に撮影した上半身正面 横3 X 縦4 cmのものを許可願に貼付してください）

②所属大学の学生証の写し（表・裏）

＊新入生にあって学生証がまだ交付されていない場合は、入学許可書の写しに変えることができます

③返信用封筒1枚（角形2号の封筒に250円分の切手を貼付し、宛名を明記してください）

8 出願手続

(1) 出願方法

出願書類を持参するか、あるいは簡易害留で郵送してください。

(2) 出願先

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町1 3 - 7 1

兵庫県立大学明石看護キャンパス学務課 大学院担当 電話 078-925-9404

(3) 出願期間

令和3年4月8日(木)まで *郵送の場合も当日必着

(4) 学務課受付時間

学務課に出願書類を持参される場合は、午前9時30分から午後5時までです。

なお、土曜日及び日曜日は受付を行いません。

(5) 選考方法および結果発表

科目担当教員の意見を参考に研究科委員会で決定し、選考結果は申請学生本人に通知します。ただし、希望者が多数の場合は人数を制限することがあります。

9 単位認定および修得証明書

特別聴講生は、履修した授業科目について試験あるいは授業ごとに定めた方法で成績評価を受けます。合格した授業科目については単位修得証明書を交付します。

10 授業の方法

コンソーシアム科目は、対面あるいは Web 会議システム等を使用した遠隔による授業を行います。各科目において、授業方法を定めます。

【問い合わせ先】

兵庫県立大学明石看護キャンパス学務課 大学院担当

住所 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町1 3 - 7 1

電話 078-925-9404

様式第1号

写真添付

災害看護コンソーシアム特別聴講生許可願

兵庫県立大学長 様				令和 年 月 日			
ふりがな 氏 名				印			
現住所	〒			TEL e-mail			
所属大学名 (研究科、専攻 名まで記載のこ と)							
災害看護コンソーシアム特別聴講生として下記科目の履修を希望しますので、許可くださ るようお願いします。							
記							
科 目 名		教 員 名		曜日・時限		備 考	

<添付書類>

- ◆ 学生証の写し(新入生にあつて学生証がまだ交付されていない場合は、入学許可書の写しに替えることができる)

*提出先

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71

公立大学法人兵庫県立大学 明石看護キャンパス 学務課 大学院担当

2021年度

5大学災害看護コンソーシアム
開講科目 履修の手引き



国立大学法人

東京医科歯科大学

目 次

履修案内

1. 制度の概要.....	
2. 出願資格等.....	
3. 出願・履修登録手続.....	
4. 単位認定及び証明書の発行.....	
特別聴講学生 出願手続の流れ.....	
5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 願書	
履修届	
連絡票	
授業科目（予定）一覧	

履修案内

1. 制度の概要

東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の五大学は、各大学が、自主自立を尊重しつつ連携して、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、災害看護に関してその深奥を極め、人々の健康社会の構築と安全・安心・自立に寄与し、グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的として「災害看護コンソーシアム」を結成しました。

これにより、東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学は、それぞれの大学の特色ある授業科目を提供することにより単位互換を実施し、5大学間の相互交流及び災害看護教育の充実を図ることを目指しています。

また、東京医科歯科大学に所属する大学院生は、本コンソーシアムにより提供される科目の単位を取得する他、所定の要件を満たした場合に「災害看護グローバルリーダー養成コース」を修了したと認定され、学位記に付記されます。本コースの詳細については、本学保健衛生学研究科看護先進科学専攻のシラバスを参照してください。

2. 出願資格等

(1) 出願資格

東京医科歯科大学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学に所属する大学院生を対象とする。

(2) 学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」とする。

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料、入学料及び授業料は徴収しない。

(4) 履修科目

特別聴講学生が履修できる授業科目は、別表の「授業科目（予定）一覧」のとおりとする。

なお、授業内容の詳細については、各大学のシラバス、HPを参照すること。

(5) 履修計画

所属大学での履修計画等を十分考慮の上、無理のない履修計画を立てること。

(6) 履修期間

履修する授業科目が開講されている授業期間とする。

(7) 受入れ条件

学生を受入れる条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入れ学生数、各種日程等）については、それぞれの受入大学が決定する。

(8) 評価の方法

授業科目の評価（試験・レポート等）の方法については、受入大学の規則によるものとする。

なお、受入大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けること。

3. 出願・履修登録手続

(1) 出願期間

5 大学災害看護コンソーシアムに関する協定書及び単位互換に関する申合せに基づき、特別聴講学生を志願する学生は、受入れ大学が定める所定の期間に手続きを行ってください。

(2) 出願方法、提出場所

出願は、出願者が直接受入希望大学にて手続きを行います。所属大学を通す必要はありませんが、出願に際しては本籍大学の指導教員と履修計画について相談の上、手続きをしてください。

出願者は、受入大学が定める書類を提出してください。

・ 本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

東京医科歯科大学の大学院生で他大学開講科目の履修を希望する者は、他大学での出願手続き・受入許可後に本学学務企画課大学院教務第二係に連絡のうえ、所定の履修届を提出してください。

・ 他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

必要な書類は「5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生願書」、「特別聴講学生履修届」、「特別聴講学生連絡票」の3点です。

(3) 出願・履修登録手続書類提出期間

・ 本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

各大学の案内を参照してください。

・ 他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

願書・履修届・連絡票：2021 年 4 月 6 日（火）～4 月 14 日（水）

* 願書に記載した科目を履修するためには履修届の提出が必要です。願書に履修予定科目を記載しただけでは講義を受けられません。

(4) 出願書類提出場所

・ 本学所属大学院生が他大学の特別聴講学生に出願する場合

各大学の案内を参照してください。

・ 他大学所属の大学院生が本学の特別聴講学生に出願する場合

東京医科歯科大学統合教育機構事務部学務企画課大学院教務第二係

（東京都文京区湯島 1-5-45 1号館西 1 階）

または、上記宛先まで郵送すること

(5) 履修の可否

受入大学が定める方法により、履修の可否が決定される。

(6) 履修辞退手続き

履修を辞退する場合には、受入れ大学に相談の上、所定の手続きを行ってください。

4. 単位認定及び証明書の発行

(1) 単位認定

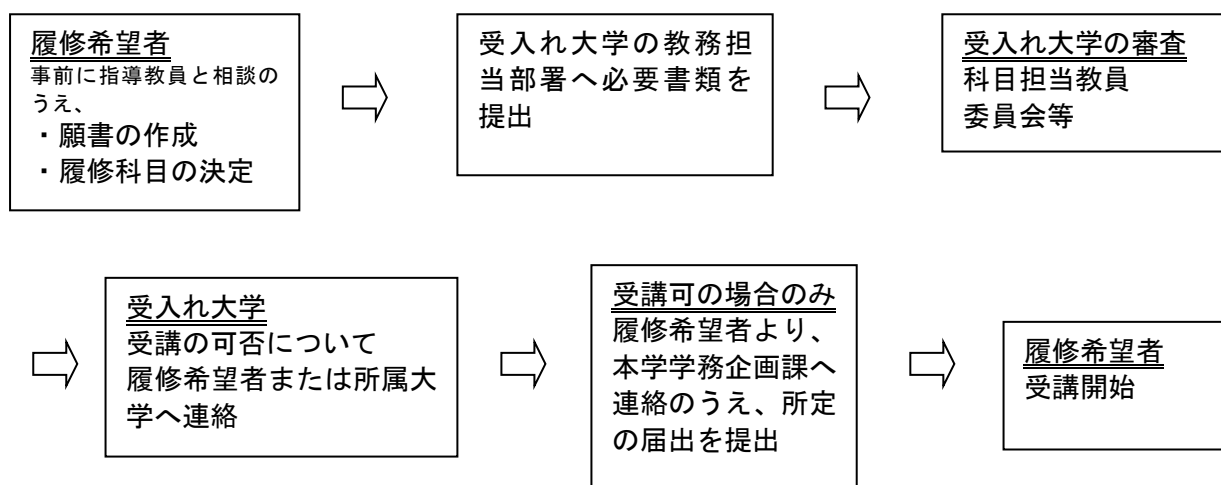
受入大学からの成績通知に基づき、単位が与えられている授業科目については、所属大学の定める規定等により、単位を認定する。

(2) 証明書の発行

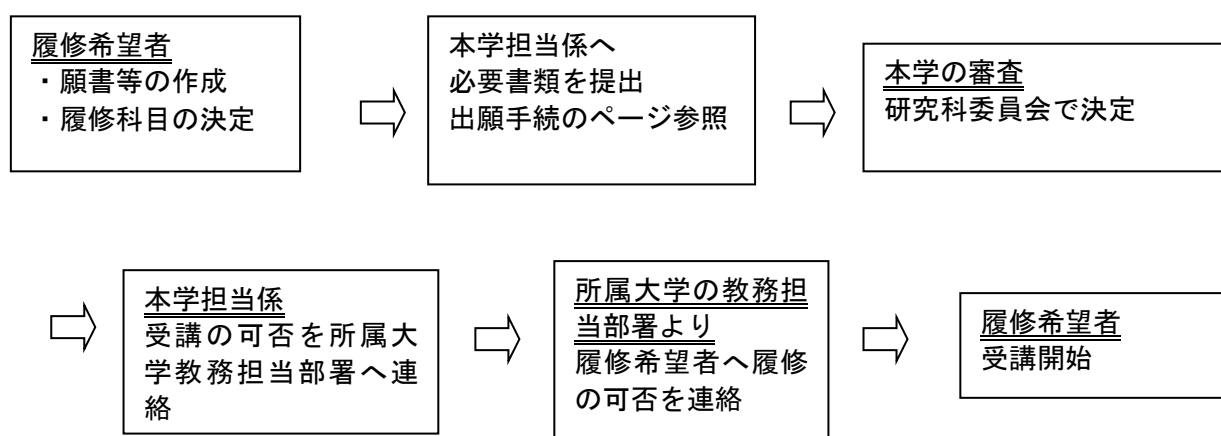
本学所属の大学院生が、本コンソーシアムによる単位互換で授与された単位が本学で認定された場合、本学が発行する成績証明書及び単位取得証明書に記載される。なお、その際の授業科目の名称は、受入大学の開講授業科目名をそのまま記載する。

5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 出願手続の流れ

本学の学生が他大学の授業科目を履修する場合



他大学所属の学生が本学の授業科目を履修する場合



5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生願書

年 月 日

学長 殿

私は、5 大学災害看護コンソーシアムに関する協定書及び単位互換に関する申合せに基づき、特別聴講学生として、下記のとおり提供・開講科目を履修したいので、関係書類を添えて提出いたします。

フリガナ		男・女	本籍等	都道府県等	写真貼付 3 × 4 cm 絹目は、不可 写真の裏に、 氏名・学籍番号を記入して、願書の右上に、クリップ止めしてください。	
氏名						
生年月日	西暦 年 月 日 生					
学籍番号						
現住所等	〒					
	携帯電話					
(Eメールアドレス)						
所属大学院・研究科・専攻						
志望（出願）理由						
履修予定科目名	授業科目名	担当教員	単位数	開講学期等		
				期	曜日	時限

履 修 届 (年度 前期 ・ 後期)

5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生用

所 属	学 年	学 籍 番 号	ふ り が な	
			氏 名	
大学院 研究科 専 攻				

科 目 名	担 当 教 員	対象期間 学期	時 間	
			曜 日	時 限
			: ~ :	
			: ~ :	

5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 連絡票

所属大学院名： _____ 研究科・専攻名： _____

学籍番号： _____ 学年 _____

ふりがな
氏名： _____

連絡先	TEL. 1	
	TEL. 2	
	アドレス1	
	アドレス2	
	住所	〒

☆ ハイフンとアンダーバー、。オーと0ゼロなど紛らわしい場合はフリガナをつけること

* この連絡票は、5大学災害看護コンソーシアムの授業の連絡手段としてのみ使用します。

* 必ず連絡のとれる連絡先を記入すること。

* 課題等もメールでお知らせする場合があるので、添付ファイルが受信できるアドレスを記入すること。

5大学災害看護コンソーシアム 科目一覧

(5 大学単位互換制度による)

提供大学	科目名	単位	種別	時間割		
				前期	後期	その他
高知県立大学	災害看護活動論(準備期)	2	講義			土日(開講時期未定)
	環境防災学	1	講義		木 4 限	
東京医科歯科大学	看護政策学特論	1	講義		火・1-2 限 隔週 4 回	
	災害看護学特論 I	2	講義	火・3-4 限 隔週 8 回		
千葉大学	災害マネジメント	1	講義		金・午前	
	災害看護活動論(復旧・復興)	1	講義		金・午前	
	災害時専門職連携演習	1	演習			集中 3 月
日本赤十字看護大学	赤十字概論Ⅱ	2	講義	水・4 限		
	災害看護学特論	2	講義	水・1 限		
兵庫県立大学	災害グローバル看護実践論	2	講義	木・5 限		
	災害看護フィールドワークⅠ	1	実習			集中(夏季)
	災害看護フィールドワークⅡ	1	実習			集中(冬季)

2021.4.1 現在

2021年度千葉大学特別聴講学生（看護学研究科）出願要項

1. 出願資格

5 大学災害看護コンソーシアムを形成する高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学のうち、千葉大学以外の大学に令和3年4月以降に在籍し、各大学でコンソーシアム科目を受講可能と定められている学生。

※コンソーシアム科目を受講可能かどうかについては、ご自身の本籍大学にお問い合わせください。

2. 出願期間

出願期間： 2021年4月8日（木）～4月9日（金）※郵送の場合、期間内必着
受付時間は、平日9時00分から17時00分までです。

なお、来年度以降、在学生の出願期間については2月中旬を予定しております。

3. 出願手続き等

下記の出願書類等を取りまとめ、亥鼻地区事務部学務課大学院係に提出してください。

- ①入学願書（本研究科所定の用紙。）
- ②本籍大学に所属していることがわかる書類（学生証の写し、入学許可書の写し等）
- ③選考結果通知書送付用封筒（長型3号に住所氏名を明記し、94円分の切手貼付）

4. 選考方法

出願者から提出された出願書類について審査を行い、可否を決定します。

なお、選考の結果については、本人宛通知します。

5. 特別聴講学生の履修期間は、入学を許可された学期（または年度）内です。

6. 予定開講科目及び単位数等

別紙「科目一覧」参照

7. 入学手続き等

5 大学間の協定に基づき、検定料・入学料・授業料は相互不徴収とします。

それ以外に、履修する科目等の条件によっては、別途経費がかかる可能性があります。

8. 授業期間

前 期 2021年 4月上旬 ～ 2021年 7月下旬

後 期 2021年10月上旬 ～ 2022年 2月下旬

※各科目の開講日程詳細につきましては、別紙「科目一覧」およびシラバスを確認してください。

9. 履修手続き等

- (1) 受講科目の web 履修登録は大学院係で行います。
- (2) 受講する際、入学許可書を担当教員に提示してください。

10. 単位の付与

授業科目を履修し試験に合格した場合、所定の単位が付与されます。

11. その他

- (1) 出願手続き後は、書類の内容変更（科目数の増減）は認めません。
- (2) 出願に際して、不明な点があれば下記まで問い合わせてください。

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学亥鼻地区事務部学務課大学院係 TEL 043-226-2450 FAX 043-226-2857
--

令和 3 年度
千葉大学大学院特別聴講学生 看護学研究科入学願書

看護学研究科

ふりがな				□男	写真 (縦4cm×横3 cm)
氏 名	(西暦) 年 月 日生			□女	
現 住 所	〒 — TEL				
本 籍 (都道府県)		メ ー ル アドレス			
本 籍 大 学	高知県立大学 ・ 兵庫県立大学 ・ 東京医科歯科大学 ・ 日本赤十字看護大学				
学 生 証 番 号 (本籍大学) ※未定の場合は受験番号を記入		所 属 (本籍大学での 研究科・専攻)			
履修期間	年 月 日 から 年 月 日				
履 修 科 目	授 業 科 目	単 位 数	開講期	曜日・時限	教 員 名
	合 計 単 位 数				
千葉大学特別聴講学生として看護学研究科に入学したいので、関係書類を添えてお願いします。 年 月 日 本人氏名 印 千葉大学長 殿					

千葉大学提供コンソーシアム科目一覧

科目名	単位数	種別	概要	担当教員	開講時間割
災害マネジメント論	1	講義	災害時の被災地支援についてマネジメントの観点から基本知識を修得すると共に実践的な思考力を養う。講義と討議により進める（オンデマンドと双方向を併用する）。	宮崎美砂子 佐藤奈保 石橋みゆき	第4ターム・金曜 I 限
災害看護活動論（復旧・復興）	1	講義	災害時に中長期的な視野で対応が必要な復旧・復興期の健康課題を明らかにし、活動を構築していく方法を学ぶ。講義と討議により進める（オンデマンドと双方向を併用する）。	宮崎美砂子 佐藤奈保 石橋みゆき	第5ターム・金曜 I 限
災害時専門職連携演習	1	講義	災害の種類及び局面に応じ、IPW（interprofessional work）が実践できるようになるための態度、知識、思考力、行動力を養う。複数の専門分野の教員の協働指導のもと、複数の専門分野の大学院生がチームを組み、連携協働して成果を産出していく実践型授業により、専門職連携実践能力の向上をねらう（対面授業）。	井出成美 酒井郁子 近藤昭彦 岩崎寛 臼井いづみ	第6ターム・集中 （3月上旬予定）

日本赤十字看護大学

2021 年度 5 大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 募集要項

1 募集人員

若干名

2 出願資格

- (1) 本学と5大学災害看護コンソーシアムに関する協定を締結した他の大学院に在籍し、各大学でコンソーシアム科目を受講可能と定められている学生
- (2) 2021 年度 9 月修了予定者以外の学生

3 履修開始の時期と履修期間

履修開始の時期は、学期の始めです。また、履修期間は、履修を許可された年度内とします。なお、授業は前期及び後期の二学期に分けて実施しています。

4 履修科目

1. 「赤十字概論Ⅱ（国際人道法含）」前期科目・2 単位
2. 「災害看護学特講Ⅲ」前期科目・2 単位

5 出願期間及び手続

- (1)出願期間 2021 年 4 月 12 日(月)から 4 月 15 日(木)まで（出願締切日当日の消印有効）
- (2)出願場所 日本赤十字看護大学 学務一課 DNGL 担当 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4 丁目 1 番 3 号
- (3)出願手続 下記の書類を取りまとめ、書留郵便で郵送又は持参（平日 9:00～17:00）のこと。

書 類 等		摘 要
1	願 書	様式 1 を使用すること。 写真 1 枚（出願日前 3 ヶ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦 4 cm×横 3 cm、裏面に氏名を記入）を願書に貼付すること。
2	履修希望科目	様式 2 を使用すること。
3	小論文	「災害看護学特講Ⅲ」履修希望者のみ提出すること。 本学所定の用紙又は A4 用紙 1～2 枚に作成すること。 課題：受講希望理由を 800 字以内（横書）にまとめる。
4	出願資格を証するもの	所属大学の学生証のコピー（表・裏）
5	書類送付用封筒	長 3 封筒（横 120×縦 235mm）に送り先を明記し、 郵便切手 404 円を貼付すること。

- ◎出願書類に不備のある場合は、受理できません。また、受理された出願書類は内容の変更を認めません。
- ◎出願書類に虚偽の記載があった場合は、履修許可の後でもこれを取り消します。
- ◎提出された出願書類は、いかなる理由においても一切返還しません。

個人情報の取扱いについて

本学では、出願時に取得した個人情報（氏名、性別、生年月日、住所等）を選考実施、選考結果の通知、学籍管理、履修手続及びこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の不正利用、紛失・滅失、漏洩等がないように必要かつ適切に管理を行います。また、業務の一部を外部へ委託する場合には、事前に委託業者等への情報取扱い管理の徹底を図ります。

6 選考方法・結果及び履修許可

- (1) 選考は、書類審査で行います。なお、科目により面接を行う場合があります。
- (2) 選考の結果は、5月下旬に郵送で通知します。また、合格者には履修手続等の資料を同封します。「誓約書」(本学指定用紙)を提出していただきますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 所定の手続を完了した者に履修を許可します。

7 単位の授与

授業を所定の時間履修し、成績評価が合格点に達した科目は、所定の単位を認定します。
単位認定は、学期末(9月又は3月)に行います。

8 その他

- (1) 履修許可後の履修科目の追加、変更は原則として認めません。
- (2) 本学大学院修士課程と同じ履修形態となります。
- (3) 修得した単位については、成績証明書を交付します。
- (4) 在学証明書、学割証、通学証明書等の発行はできません。
- (5) 本募集要項に関して不明な点は、下記にお問い合わせください。
- (6) 遠隔授業(オンデマンド型授業・Microsoft Teams や Zoom による同時双方向型授業)について、受講に必要なインターネット環境はご自身でご準備ください。

【問い合わせ先】 日本赤十字看護大学 学務一課 DNGL 担当
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号
TEL : 03 (3409) 0916
Mail : dngl-bo-ml@redcross.ac.jp

受付番号	※
------	---

日本赤十字看護大学
2021年度 5大学災害看護コンソーシアム 特別聴講学生 願書

出願年月日： 2021年 月 日

出願種別	大学院看護学研究科(特別聴講学生)		
新規・継続の別	新規 ・ 継続 (該当箇所を○で囲んでください)	学籍番号 (継続の方のみ記入)	
フリガナ		性 別	写真貼付 (縦4cm×横3cm) 3ヶ月以内に 撮影したもの
氏 名		男 ・ 女	
生年月日	年 月 日 (歳)		
所属大学	大学大学院 研究科 専攻		
	課程 年生 (年 月 修了見込)		
現住所	〒		
電話番号 (自宅)			
電話番号 (携帯電話)			
E-mail			
職業の有無	有 ・ 無 (○で囲んでください)		
勤務先			
所在地	〒 [電話() -]		

註 ①※印欄を除き、太枠内に楷書で記入し、該当する事項を○で囲んでください。

②勤務先がある場合は、記入してください。

③西暦で記入して下さい。

【個人情報の取り扱いについて】

この出願書類で取得した個人情報は、①選考結果の通知 ②学籍管理及び履修手続き ③施設利用にかかる業務 ④履修、成績評価、単位認定等にかかる業務 に関連した事項を行うために利用します。

受付番号	※
------	---

履 修 希 望 科 目

	フリガナ			学籍番号			
	氏 名						
履修希望	科目コード	授業科目	開講期 (通年・前期・後期)	曜日・時限	担当教員	単位数	判定
	M01217	災害看護学特講Ⅲ	前期	水曜・1限	内木 美恵	2	
	M01320	赤十字概論Ⅱ (国際人道法含)	前期	水曜・4限	角田 敦彦	2	

*履修を希望する科目に○印を付けてください。

合 計 :	科目	単位
-------	----	----

註 ※印欄を除き、太枠内に楷書で記入してください。

<注意>

各科目は、諸事情により開講日時・担当教員等が変更になる場合があります。

日本赤十字看護大学大学院

2021年度 5大学災害看護コンソーシアム 小論文

[illegible]

科目名	環境防災学			英訳科目名	Environmental Disaster Studies		
科目区分				単位数	2	必選区分	
時間割コード	64201002	授業種別		履修年次		開講期間	後期
授業方式				池		永国寺	
履修における 注意点	災害映像資料の使用について配慮が必要な受講生は 事前に必ず申し出ること。 使用言語：日本語（授業、資料とも） 受講生数：5人以下 授業は遠隔で行う。			資格・区分等			
担当教員	2155930	大村 誠		所属	文化学科		
ディプロマ・ポ リシーとの関連 性							
授業教員							
授業の概要	地球科学に関する幅広い知識を利用して、地域における開発・保全・防災・環境問題に取り組むための学術的基礎素養と、多様な場における問題解決に応用できる基礎的能力を身につける。災害の事例を学ぶために、視聴覚教材や報道資料を多用する。						
達成目標 (達成水準)	災害発生と自然・都市環境との関連を理解する（50%） 災害対応の流れ「備える」「生き抜く」「立ち直る」を意識した実践について提案できる（50%）						
授業計画	第1回:素因と誘因（西南日本を例に） 第2回:南海トラフ地震・西日本の地震活動 第3回:活断層と地震 第4回:地震の概要・首都直下地震 第5回:長周期地震動・地盤液化化 第6回:地盤災害・土砂災害・津波 第7回:気象災害 第8回:気象災害など補足、まとめ :あらたな災害の発生、受講生の興味・関心・理解度に応じて、内容・順番を変更する。						
成績評価 (基準と方法)	授業への積極的参加（30%）、小レポート（20%）、最終レポート（50%）						
教科書	PDF ファイルの資料を提供する。 参考書、参考 WEB サイトは、授業の中で紹介する。						
授業外学習 課題 (予習・復習)	第1回―第8回:必須の事後確認課題（小レポート）を回答する。 :必須の最終レポートを回答する。						
オフィスアワー	メールで調整する。						
備考	使用言語：日本語（授業、資料とも） 受講生数：5人以下 授業は遠隔で行う。						

科目名	災害看護活動論（準備期）			英訳科目名	Theories and Interventions in Disaster and International Nursing ; Disaster Preparation		
科目区分				単位数	2	必選区分	
時間割コード	62200179	授業種別		履修年次	1～	開講期間	通年
授業方式				池	○	永国寺	
履修における 注意点				資格・区分等			
担当教員	2155047	山田 覚		所属	看護学科		
ディプロマ・ポリシーとの関連性							
授業教員	山田、神原、木下						
授業の概要	災害サイクルの静穏期における備えに関し、地域の災害対策システム、および地域、各種施設、行政等との連携も踏まえながら、発災を想定した事前の準備活動を整理し、平時から災害看護活動体制を構築していく方法を学ぶ。						
達成目標 (達成水準)	災害対策システムを理解するとともに、静穏期の準備活動を整理することができる。地域、各種施設、行政との連携体制を整理し、理解することができる。発災を想定し、どのような準備活動をすべきか、災害看護活動体制の構築を検討できる。						
授業計画	1:オリエンテーション、災害サイクルの静穏期における備え(山田、神原、木下) 2-3:災害対策システムおよび地域、各種施設、行政等との連携の現状と課題(山田) 4-5:災害時の個人、家族を守る備えとしての基礎的な看護活動(神原) 6-7:復興期を見据えた個人、家族を守る備えとしての看護活動(木下) 8-9:地域防災力としての災害看護活動(神原) 10-11:コミュニティ再建を見据えた地域の備えとしての看護活動(神原) 12-13:災害看護活動支援としての備え(山田) 14-15:課題に関するプレゼンと議論(山田、神原、木下)						
成績評価 (基準と方法)	出席状況とレポートにて総合的に評価する						
教科書	資料を配布する						
授業外学習 課題 (予習・復習)	1:静穏期における備えとはどのようなものか、まとめてプレゼンする 2:災害法体系を読み、感想をまとめてプレゼンする 3:災害における地方自治体と一般企業との連携を1つ挙げ、まとめてプレゼンする 4:事前課題については、別途、説明する。 5:事前課題については、別途、説明する。 6:事前課題については、別途、説明する。 7:事前課題については、別途、説明する。 8:事前課題については、別途、説明する。 9:事前課題については、別途、説明する。 10:事前課題については、別途、説明する。 11:事前課題については、別途、説明する。 12:災害に関連したネットワーク/ネットワーク活動の例を1つ挙げ、まとめてプレゼンする 13:災害に関する行政と職能団体との協定を1つ挙げ、まとめてプレゼンする 14:本講義の目的を踏まえ、地域、各種施設、行政との連携を通して、静穏期にどのような準備活動をすべきか、災害看護活動体制を提案し、プレゼンする 15:本講義の目的を踏まえ、地域、各種施設、行政との連携を通して、静穏期にどのような準備活動をすべきか、災害看護活						
オフィスアワー	いつでもメールで対応する						
備考							

授業科目名	災害グローバル看護実践論 Disaster Nursing Practice with Global Perspectives	科目区分	領域別専門科目
対象学生	看護学研究科博士前期課程	開講年次・学期	2 年次・前期
単位数	2	授業種別	講義
担当教員	増野園恵	所属	兵庫県立大学地域ケア開発研究所
オフィスアワー・場所	火曜日～木曜日・地域ケア開 発研究所 2 階研究室	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	【講義目的】 災害リスクは、ハザード（Hazard）への曝露（Exposure）と脆弱性（Vulnerability）、対応力（Capacity）の関係で示される。地球温暖化や都市化、人々や情報の移動の迅速化・グローバル化、社会的格差など、地球規模での様々な課題が災害リスク削減に関連しており、災害への取り組みはグローバルな課題である。本科目では、国内外での災害看護の取り組みや課題を概観し、災害看護／災害健康危機管理をグローバルな視点から検討し理解を深め、災害リスクマネジメントへのグローバルかつ学際的なアプローチとその中での看護の役割を検討する。 【到達目標】 1. 災害看護／災害健康危機管理の課題をグローバルな健康課題との関連で議論できる。 2. 災害健康危機管理の課題にグローバル社会がどのように対応しているのか、そのメカニズムと課題を説明できる 3. グローバルな災害リスク削減への取り組みにおける看護の役割や今後の可能性について議論できる		
講義内容・授業計画	【講義内容】 災害の世界的動向を最新データ・知見を元にレビューし、国際的な枠組みでの災害対応や災害による健康課題や関連する人道上の課題について既存のレポートや資料から検討し、他国の災害看護／災害健康危機管理の取り組みについて他国の研究者等からの報告を元に議論する。学生は、関心のあるテーマを定め、データや資料探索を行い、授業でプレゼンテーションを行い、他の学生と議論を通して理解を深める。 【授業計画】 1.オリエンテーション：災害とは、災害看護とは 2.世界の健康課題／災害の動向 3.災害リスク／人道問題 4.グローバル社会の災害対応(1) 5.グローバル社会の災害対応(2) 6.日本による災害時国際支援 7.災害と健康課題／人道問題①（学生によるプレゼンテーション） 8.災害と健康課題／人道問題②（学生によるプレゼンテーション） 9.災害と健康課題／人道問題③（学生によるプレゼンテーション）		

	10.災害と健康課題／人道問題④（学生によるプレゼンテーション） 11.他国の災害対応 12.他国の災害対応 13.他国の災害対応 14.災害看護における Cultural Care Competencies 15.まとめ
テキスト	Wisner, Ben, Adams, John & World Health Organization. (2002). Environmental health in emergencies and disasters: a practical guide / edited by B. Wisner, J. Adams. World Health Organization. https://apps.who.int/iris/handle/10665/42561
参考文献	♦ FitzGerald, G., Tarrant, M., Aitken, P. and Fredriksen, M. (2017). Disaster Health Management- A primer for students and practitioners, Abingdon: Routledge. ♦ Sphere Association (2018). The Sphere Handbook 2018 Edition, Geneva: Sphere. https://spherestandards.org/wp-content/uploads/Sphere-Handbook-2018-EN.pdf ♦ WHO (2019). Health Emergency and Disaster Risk Mangement Framework, https://www.who.int/hac/techguidance/preparedness/health-emergency-and-disaster-risk-management-framework-eng.pdf
成績評価	【成績評価の基準】 講義目的・到達目標に記載する能力（知識、思考力、表現力）の到達度に応じて S から C まで成績を与える。 【成績評価の方法】 プレゼンテーション 40%、クラスでの議論への参加・発言 30%、最終レポート 30%で総合的に評価する。
履修上の注意・履修要件	災害看護学領域の学生は、災害看護学総論、災害看護対象論および災害看護フィールドワーク I～IIIのいずれかを履修していること。 本科目は災害看護 5 大学コンソーシアム協定によって提供される、コンソーシアム科目である。特別聴講学生として履修を希望する者は、事前に担当教員にメールで連絡をすること。
備考	一部、海外連携大学の教員等による特別講義があります。逐次通訳は入りませんので、英語の聞き取りおよび会話がある程度は可能であることが期待されます。

授業科目名	災害看護フィールドワークⅠ Disaster Nursing Fieldwork I	科目区分	領域別専門科目
対象学生	看護学研究科博士前期課程	開講年次・学期	1年次・前期
単位数	1	授業種別	実習
担当教員	増野園恵	所属	兵庫県立大学地域ケア開発研究所
オフィスアワー・場所	火曜日～木曜日・地域ケア開発研究所2階研究室	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	【講義目的】 災害時に人々の命と健康を守る看護の役割を遂行する上で必要な災害への備えの取り組みや課題について理解を深め、実践的な視点と課題分析の力を養うことを目的とする。 【到達目標】 1. 課題フィールドにおける災害への備えの取り組みの背景と要点を整理できる 2. フィールドにおける災害への備えの取り組みにおける看護の役割と看護職者に求められる姿勢／態度を論じることができる 3. フィールドにおける災害への備えの取り組みからの示唆を整理し、説明できる		
講義内容・授業計画	【講義内容】 フィールドワーク実施前の対象地に関する情報収集に基づくフィールドワーク計画、課題地域におけるフィールドワーク、およびフィールドワーク後のまとめの議論を行う。 【授業計画】 <事前> 1. ガイダンス 2. 課題とフィールドワーク候補地の検討 3-4. フィールド・調査対象に関する文献調査 5. フィールドワークの準備：文献調査結果の共有 6. フィールドワークの計画：調査項目/視点、ヒアリング内容等の検討 <実施> 7-21. フィールドワークの実際／現地訪問・調査・活動への参加／データ整理 <事後> 22. データの分析 23-24 報告会		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
成績評価	【成績評価の基準】 講義目的・到達目標に記載する能力（知識、思考力、表現力）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。		

	【成績評価の方法】 授業への参加状況（事前課題への取り組み、フィールドワークの際の参加姿勢・発言、事後報告会でのプレゼンテーション）60%と課題レポート 40%により評価する。
履修上の注意・履修要件	本科目は災害看護 5 大学コンソーシアム協定によって提供される、コンソーシアム科目である。特別聴講学生として履修を希望する者は、事前に担当教員にメールで連絡をすること。 フィールドワークのための旅費等は個人での負担となる。訪問地により費用は異なる。 スケジュールはフィールドの都合により変動するが、フィールドワークの実施は夏季休業期間中を予定している。フィールドワーク実施の時期に合わせて、事前と事後の授業スケジュールを決定する。具体的な日程については、履修登録者と連絡・調整の上、決定し通知する。
備考	特になし

授業科目名	災害看護フィールドワークⅡ Disaster Nursing Fieldwork II	科目区分	領域別専門科目
対象学生	看護学研究科博士前期課程	開講年次・学期	1～2 年次・前期
単位数	1	授業種別	実習
担当教員	増野園恵	所属	兵庫県立大学地域ケア開発研究所
オフィスアワー・場所	火曜日～木曜日・地域ケア開発研究所 2 階研究室	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	【講義目的】 災害後の復興に取り組む現場を訪問し、復興期の守る看護の役割と活動の実際を学び、復興期の看護のあり方を検討する実践的な視点、課題分析の力を養うことを目的とする。 【到達目標】 1. 課題フィールドにおける復興期の取り組みの背景と要点を整理できる 2. フィールドにおける復興期の取り組みにおける看護の役割と看護職者に求められる姿勢／態度を論じることができる 3. フィールドにおける復興期の取り組みからの示唆を整理し、説明できる		
講義内容・授業計画	【講義内容】 フィールドワーク実施前の対象地に関する情報収集に基づくフィールドワーク計画、課題地域におけるフィールドワーク、およびフィールドワーク後のまとめの議論を行う。 【授業計画】 <事前> 1. ガイダンス 2. 課題とフィールドワーク候補地の検討 3-4. フィールド・調査対象に関する文献調査 5. フィールドワークの準備：文献調査結果の共有 6. フィールドワークの計画：調査項目/視点、ヒアリング内容等の検討 <実施> 7-21. フィールドワークの実際／現地訪問・調査・活動への参加／データ整理 <事後> 22. データの分析 23-24 報告会		
テキスト	なし		
参考文献	なし		
成績評価	【成績評価の基準】 講義目的・到達目標に記載する能力（知識、思考力、表現力）の到達度に応じて S から C まで成績を与える。 【成績評価の方法】		

	授業への参加状況（事前課題への取り組み、フィールドワークの際の参加姿勢・発言、事後報告会でのプレゼンテーション）60%と課題レポート 40%により評価する。
履修上の注意・履修要件	本科目は災害看護5 大学コンソーシアム協定によって提供される、コンソーシアム科目である。特別聴講学生として履修を希望する者は、事前に担当教員にメールで連絡をすること。 フィールドワークのための旅費等は個人での負担となる。訪問地により費用は異なる。 スケジュールはフィールドの都合により変動するが、フィールドワークの実施は夏季休業期間中を予定している。フィールドワーク実施の時期に合わせて、事前と事後の授業スケジュールを決定する。具体的な日程については、履修登録者と連絡・調整の上、決定し通知する。
備考	特になし

時間割番号	061068				
科目名	看護政策学特論			科目ID	
担当教員	柏木 聖代[KASHIWAGI Masayo]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次		単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
3 号館 15 階 大学院講義室 2					
授業の目的、概要等					
看護をめぐる今日の社会的背景等を踏まえ、看護制度・政策の理念、機能、意義を理解するとともに、近未来の看護政策の展開に必要な知識ならびに技法について教授する。					
授業の到達目標					
1.看護を取り巻く制度・政策やその決定プロセスを理解する。					
2.看護を取り巻く医療制度・政策の課題を整理し、解決策を提案する能力を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/5	10:30-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	看護政策論	柏木 聖代
2	10/19	10:30-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	看護課題の改善と施策への反映	後藤 友美 柏木 聖代
3-4	10/26	08:50-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	財政と医療・経済学の視点	佐藤 主光 柏木 聖代
5-6	11/9	08:50-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	看護政策過程演習：課題の抽出・明確化	柏木 聖代 森岡 典子
7	11/16	10:30-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	これからの看護と政治、日本看護連盟の役割	伊勢田 暁子、 柏木 聖代
8	11/30	10:30-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	看護職者の政策過程への参画	齋藤 訓子、 柏木 聖代
9	12/14	10:30-12:00	保健衛生学研究科 大学院講義室 2	看護政策過程演習：政策提言・討議	柏木 聖代 森岡 典子
授業方法					
看護を取り巻く制度・政策の実際と決定プロセスについて、看護学および法学・経済学などの関連領域の研究者や行政官など実際の政策					

過程に携わる実践家の講義から学ぶ。各自の臨床経験・研究テーマに関連した看護・医療の政策・制度上の課題を整理・抽出し、解決策を考案する。
授業内容 別表のとおり
成績評価の方法 参加状況(60%)、プレゼンテーション(20%)、レポート(20%)に基づいて評価する。最終レポートのテーマは以下を予定する。 「自身の関心領域において、看護を取り巻く制度や政策に影響を及ぼすことができるようになるために、自身がどのように成長・発達していけばよいか、本講義の学習内容を踏まえて考察せよ(1200文字)」
準備学習等についての具体的な指示 看護政策過程演習については別途講義内で指示する。
履修上の注意事項 進行予定・内容は、非常勤講師の予定等に応じて変更されることがある。
連絡先(メールアドレス) 柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室
オフィスアワー 柏木 聖代オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

Lecture No	061068				
Subject title	Policy Making in Nursing Lecture			Subject ID	
Instructors	柏木 聖代[KASHIWAGI Masayo]				
Semester	Fall 2021	Level		Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place	15 floor, 3rd building				
Course Purpose and Outline					
This course deals with the basic concepts and principles of the nursing policy considering the current social situation. It also enhances the development of students' knowledge and skill in nursing policy planning.					
Course Objective(s)					
The goals of this course are to					
1) Understand the nursing policy and procedure.					
2) Obtain skills in presenting solutions to nursing and healthcare policy issues.					
Lecture plan					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/5	10:30-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	看護政策論	柏木 聖代
2	10/19	10:30-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	看護課題の改善と施策 への反映	後藤 友美 柏木 聖代
3-4	10/26	08:50-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	財政と医療・経済学の視 点	佐藤 主光 柏木 聖代
5-6	11/9	08:50-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	看護政策過程演習:課題 の抽出・明確化	柏木 聖代 森岡 典子
7	11/16	10:30-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	これからの看護と政治、 日本看護連盟の役割	伊勢田 暁子, 柏木 聖代
8	11/30	10:30-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	看護職者の政策過程へ の参画	齋藤 訓子, 柏木 聖代
9	12/14	10:30-12:00	保健衛生 学研究科 大学院講 義室 2	看護政策過程演習:政策 提言・討議	柏木 聖代 森岡 典子
Lecture Style					

This course will be divided into 1) the lectures by the experts in nursing politics, law, and economics, and 2) the exercise in the policy planning cycle regarding own research topics.
Course Outline Next page
Grading System Grading will be decided based on attendance(60%), the quality of the presentation (20%), and the term-end report(20%).
Prerequisite Reading The detailed content of the policy planning exercise will be announced in the class.
Important Course Requirements The schedule and contents are subject to change depending on the convenience of the lecturers.

時間割番号	061035				
科目名	災害看護学特論 I			科目 ID	
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO]				
開講時期	2021 年度前期	対象年次		単位数	2
実務経験のある教員による授業					
・災害看護コンソーシアム科目(災害看護グローバルリーダーコース必修科目)					
・クリティカルケア高度実践看護師コース必修科目					
・全て日本語で行う					
主な講義場所					
遠隔授業					
授業の目的、概要等					
主要な災害の急性期において、心身のクリティカルな状況にある人々の、身体状況、精神心理状況について理解するとともに、災害時医療の原則、医療救護、被災者・支援者への心身のケアの実際、継続的な看護支援のあり方について学修する。そのため、災害時の疾病構造、各種災害の急性期の医療活動の原則と、チーム医療活動における看護の役割について学び、医療救護に必要な知識・技術を修得する。また、急性期を脱した後の、継続的な看護支援のあり方について検討する。					
授業の到達目標					
1.各種災害の急性期の医療活動の原則と、チーム医療活動における看護の役割がわかる。					
2.災害時の医療救護に必要な知識・技術を習得する。					
3.災害急性期を脱した後の、継続的な看護支援のあり方について検討する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応	佐々木 吉子
2-3	4/27	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	災害急性期のエマージェンシー・ケア	佐々木 吉子
4-5	5/18	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応	今津 陽子
6-7	6/1	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(1) 傷病者の一次評価、二次評価、応急救護	大友 康裕
8-9	6/8	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(2) CBRNE 災害、テロ災害の傷病者への医療	大友 康裕
10-11	6/29	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	被災者、災害遺族の心理反応と Psychological First Aid	河島 譲
12-13	7/13	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	放射線災害時における緊急被ばく者への医療対応	福島 芳子
14	7/27	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	感染症/パンデミックへの対応	宮前 繁
15	7/27	14:40-16:10	遠隔授業	最終ディスカッションと	佐々木 吉子,

		(同期型)	まとめ	今津 陽子	
授業方法					
各回のテーマに基づく、講義、演習、およびディスカッション					
授業内容					
本授業では、災害急性期において、心身のクリティカルな状況におかれた、個人、集団に対する医療や看護の原則、実際の医活動について学び、その専門性についての知識の修得および実践力を養う。 1.災害急性期のヘルスケアニーズと対応 2.災害急性期のエマージェンシー・ケア 3.侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応 4.重症被災者への医療対応①傷病者の一次評価、二次評価、応急救護 5.重症被災者への医療対応②CBRNE 災害、テロ災害の傷病者への医療 6.被災者、災害遺族の心理反応とメンタルケア 7.感染症/パンデミックへの対応 8.放射線災害時における緊急被ばく者への医療対応 9.最終ディスカッションとまとめ					
成績評価の方法					
授業への参加姿勢 40%、事後課題レポート 30%、最終レポート 30%					
準備学習等についての具体的な指示					
初回授業においてガイダンスを行い、各授業で必要時補足する。					
参考書					
Disaster nursing and emergency preparedness for chemical, biological, and radiological terrorism, and other hazards／Tener Goodwin Veenema,Veenema, Tener Goodwin,: Springer, 2019					
履修上の注意事項					
課題がある場合、指定された期限までに指定された方法で提出する。					
連絡先(メールアドレス)					
佐々木 吉子 y-sasaki.dn@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
佐々木 吉子:平日 AM.9:30-PM.5:30 3号館 19階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室					

Lecture No	061035																																																										
Subject title	Disaster Nursing Lecture I			Subject ID																																																							
Instructors	佐々木 吉子, 今津 陽子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO]																																																										
Semester	Spring 2021	Level		Units	2																																																						
Course by the instructor with practical experiences	• Elective for Disaster Nursing Consortium (Required for Disaster Nursing Global Leader course) • Required for APN Course in Critical Care Nursing • All classes are taught in Japanese.																																																										
Lecture place																																																											
Remote class																																																											
Course Purpose and Outline	This class provides students with opportunity to understand the physical and psychological conditions of people in critical physical and mental conditions during the acute phase of major disasters. It also led students to learn the principles of disaster medical care, medical relief, actual physical and mental care for victims and supporters, and how to provide continuous nursing support. In addition, students will learn about the principles of disaster medical care, medical relief, actual physical and mental care for victims and supporters, and how to provide continuous nursing support. In addition, students will study how to provide continuous nursing support after acute phase.																																																										
Course Objective(s)	1.To understand the principles of medical activities in the acute phase of various disasters and the role of nursing in team medical activities. 2.To acquire the knowledge and skills necessary for medical relief in times of disaster. 3.To examine how nursing support should be provided on an ongoing basis after the acute phase of a disaster has passed.																																																										
Lecture plan	<table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>13:00-14:30</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応</td><td>佐々木 吉子</td></tr><tr><td>2-3</td><td>4/27</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>災害急性期のエマージェンシー・ケア</td><td>佐々木 吉子</td></tr><tr><td>4-5</td><td>5/18</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応</td><td>今津 陽子</td></tr><tr><td>6-7</td><td>6/1</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>重症被災者への医療対応(1) 傷病者の一次評価、二次評価、応急救護</td><td>大友 康裕</td></tr><tr><td>8-9</td><td>6/8</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>重症被災者への医療対応(2) CBRNE 災害、テロ災害の傷病者への医療</td><td>大友 康裕</td></tr><tr><td>10-11</td><td>6/29</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>被災者、災害遺族の心理反応と Psychological First Aid</td><td>河嶋 譲</td></tr><tr><td>12-13</td><td>7/13</td><td>13:00-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>放射線災害時における緊急被災者への医療対応</td><td>福島 芳子</td></tr><tr><td>14</td><td>7/27</td><td>13:00-14:30</td><td>遠隔授業</td><td>感染症パンデミックへの</td><td>宮前 繁</td></tr></table>					回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応	佐々木 吉子	2-3	4/27	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	災害急性期のエマージェンシー・ケア	佐々木 吉子	4-5	5/18	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応	今津 陽子	6-7	6/1	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(1) 傷病者の一次評価、二次評価、応急救護	大友 康裕	8-9	6/8	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(2) CBRNE 災害、テロ災害の傷病者への医療	大友 康裕	10-11	6/29	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	被災者、災害遺族の心理反応と Psychological First Aid	河嶋 譲	12-13	7/13	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	放射線災害時における緊急被災者への医療対応	福島 芳子	14	7/27	13:00-14:30	遠隔授業	感染症パンデミックへの	宮前 繁
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																						
1	4/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス、災害急性期のヘルスケアニーズと対応	佐々木 吉子																																																						
2-3	4/27	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	災害急性期のエマージェンシー・ケア	佐々木 吉子																																																						
4-5	5/18	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	侵襲的治療下にある患者・家族への災害への備えと災害急性期の対応	今津 陽子																																																						
6-7	6/1	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(1) 傷病者の一次評価、二次評価、応急救護	大友 康裕																																																						
8-9	6/8	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	重症被災者への医療対応(2) CBRNE 災害、テロ災害の傷病者への医療	大友 康裕																																																						
10-11	6/29	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	被災者、災害遺族の心理反応と Psychological First Aid	河嶋 譲																																																						
12-13	7/13	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	放射線災害時における緊急被災者への医療対応	福島 芳子																																																						
14	7/27	13:00-14:30	遠隔授業	感染症パンデミックへの	宮前 繁																																																						

			(同期型)	対応	
15	7/27	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	最終ディスカッションと まとめ	佐々木 吉子 今津 陽子
Lecture Style Lectures, exercises, and discussions based on each session's theme					
Course Outline This subject provides students with the opportunity to learn about the principles and actual medical activities of medical and nursing care for individuals and groups in critical physical and mental conditions during acute disaster situations, and to acquire knowledge and develop practical skills in this specialty. 1.Guidance, Health Care Needs and Responses in Acute Disaster Situations 2.Emergency Care in the Acute Phase of Disaster 3.Disaster preparedness and acute disaster response for patients and families under invasive treatment 4.Medical care for severely injured victims (1): Primary assessment, secondary assessment, and first aid for the victims 5.Medical care for severely injured victims (2): Medical care for the victims of CBRNE disaster and terrorism 6.Psychological Response of survivors and bereaved family during disasters and Psychological First Aid for them 7.Medical care for people exposed to radiation in acute phase of radiation disaster 8.Responding to Infectious Disease Pandemics 9.Final discussion and integration					
Grading System Learning attitude in class: 40%, response sheets: 30%, final report: 30%					
Prerequisite Reading Guidance is given in the first class and supplemented as necessary in each class.					
Reference Materials Disaster nursing and emergency preparedness for chemical, biological, and radiological terrorism, and other hazards／Tener Goodwin Veenema,Veenema, Tener Goodwin,: Springer, 2019					
Email SASAKI YOSHIKO:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information SASAKI YOSHIKO:Weekday 9:30am-5:30pm. Professor's office of Department of Disaster and Critical Care Nursing					

シラバス

科目名：災害マネジメント論 Disaster Management Theory

科目責任者（連絡先）：千葉大学大学院看護学研究院 地域創成看護学講座 宮崎美砂子

メールアドレス：miyamisa@faculty.chiba-u.jp

科目区分：博士前期課程・共通基盤（実践モジュール）/博士後期課程

5 大学災害看護コンソーシアム科目・千葉大学災害看護学副専攻認定科目

単位数：1 単位（選択）

授業形態：講義・オムニバス方式/全 8 回

開講時期：第 4 ターム（10 月～11 月）・金曜日 I 限目（8:50～10:20）

使用言語：日本語

授業方法：メディア授業（オンデマンド及び同時双方向型（Zoom）の併用）

授業担当者；宮崎美砂子（科目責任者）、佐藤奈保、石橋みゆき

【概要】

災害時の被災地支援についてマネジメントの観点から基本知識を修得すると共に実践的な思考力を養う。講義と共に討議を含め進める。メディア授業（オンデマンドと同時双方向型の授業の併用）により行う。

【目的】

災害時の被災地支援推進の要となる災害時のマネジメントに対する基礎的知識の修得と事例を通して実践的な思考力を養う。

【到達目標】

- ① 被災地支援にかかわる仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴について理解する
- ② 被災者に必要な支援や配慮、災害時に配慮を必要とする人々への支援、二次的健康被害の防止、避難所の運営の観点から災害時のマネジメントの特性について理解を深める
- ③ 災害時における住民同士の助け合い、支援者間の連携・協働の観点から災害時のマネジメントの特性について理解を深める

【授業計画・授業内容】

オンデマンドと同時双方向型を組み合わせる授業を進行する。オンデマンドでは講義と共に課題を提示する。続く同時双方向型では課題レポート等を共有・討議する。

授業計画は以下のとおり。

回	方法・日程	内容	担当
1	オンデマンド 10/1	オリエンテーション 災害の特性、被災地支援にかかわる人材・組織・体制、支援の仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴①	宮崎
2	同時双方向型 10/8	災害の特性、被災地支援にかかわる人材・組織・体制、支援の仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴②	宮崎
3	オンデマンド 10/15	災害の特性、被災地支援にかかわる人材・組織・体制、支援の仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴③	宮崎
4	同時双方向型 10/22	災害の特性、被災地支援にかかわる人材・組織・体制、支援の仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴④	宮崎
5	オンデマンド 10/29	被災者に必要な支援や配慮、災害時に配慮を必要とする人々への支援、二次的健康被害の防止、避難所の運営における課題とマネジメント①	佐藤
6	同時双方向型 11/12	被災者に必要な支援や配慮、災害時に配慮を必要とする人々への支援、二次的健康被害の防止、避難所の運営における課題とマネジメント②	佐藤
7	オンデマンド <u>大学祭 11/5 の補講どこか1コマ</u>	災害時における住民同士の助け合い、支援者間の連携・協働における課題とマネジメント①	石橋
8	同時双方向型 11/19	災害時における住民同士の助け合い、支援者間の連携・協働における課題とマネジメント①	石橋

(宮崎美砂子/4回)

災害の特性、被災地支援にかかわる人材・組織・体制、支援の仕組み・制度、災害時におけるマネジメントの特徴について解説する。

(佐藤奈保/2回)

被災者に必要な支援や配慮、災害時に配慮を必要とする人々への支援、二次的健康被害の防止、避難所の運営における課題とマネジメントについて解説する。

(石橋みゆき/2回)

災害時における住民同士の助け合い、支援者間の連携・協働における課題とマネジメントについて解説する。

【授業外学習】

授業前：各回のオンデマンド授業で課題を提示するので、続く同時双方向型で他の受講者と共有・討議できるよう準備すること。

授業後：受講者は各授業回の終了後にレスポンスペーパーを提出する（「学んだこと・印象に残ったこと」「授業の中で自分が取った役割」「疑問点・質問事項」）。レスポンスペーパーは受講者へのフィードバックに役立てると共に成績評価の一部に用いる。

【キーワード】 災害、マネジメント、健康被害の防止、連携・協働

【履修上の注意・履修条件】

5 大学災害看護コンソーシアム科目として、千葉大学以外の学生が本科目を履修する場合は千葉大学の特別聴講生としての手続きを事前にとること。

【単位取得の基本要件】 授業全8回のうち3分の2以上（6回）以上の出席。

【評価方法】

- ・ レスポンスペーパー40%（授業参加の態度意欲を評価する）
- ・ 最終レポート 60%（修得した知識及び理解を論理的に説明する力を評価する）

※なお指定期日を過ぎてからのレスポンスシート及び最終レポートの提出は成績評価に反映できないので注意すること。

【参考文献】

必読文献は随時紹介する。

内閣府：令和2年防災白書 <http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r2.html>

國井修：災害時の公衆衛生 私たちにできること．南山堂、2012

矢守勝也，宮本 匠：現場でつくる減災学，新曜社，2016.

矢守勝也，吉川肇子，網代 剛：防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション，ナカニシヤ出版，2015.

シラバス

科目名：「災害看護活動論（復旧・復興）Disaster Nursing Activity（Recovery and Reconstruction Phase）」

科目責任者（連絡先）：千葉大学大学院看護学研究院 地域創成看護学講座 宮崎美砂子

メールアドレス：miyamisa@faculty.chiba-u.jp

科目区分：博士前期課程・共通基盤（実践モジュール）/博士後期課程

5 大学災害看護コンソーシアム科目・千葉大学災害看護学副専攻認定科目

科目区分：博士前期課程・共通基盤（実践モジュール）/博士後期課程

5 大学災害看護コンソーシアム科目・千葉大学災害看護学副専攻認定科目

単位数：1 単位（選択）

授業形態：講義・オムニバス方式/全 8 回

開講時期：第 5 ターム（11 月の最後の週～1 月）・金曜日 I 限目（8:50～10:20）

使用言語：日本語

授業方法：メディア授業（オンデマンド及び同時双方向型（Zoom）の併用）

授業担当者；宮崎美砂子（科目責任者）、佐藤奈保、石橋みゆき

【概要】

災害時に中長期的な視野で対応が必要な復旧・復興期の健康課題を明らかにし、活動を構築していく方法を学ぶ。講義と共に討議を含め進める。メディア授業（オンデマンドと同時双方向型の授業の併用）により行う。

【目的】

災害時に中長期的な視野で対応が必要な復旧・復興期の健康課題をアセスメントし、支援活動を構築していくための方法を、事例を通して実践的に理解し、考察する力を養う。

【目標】

- ① 災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法について理解し、事例を通して検討する
- ② 疾病・障害をもつ人々が災害時に抱える問題と中長期的な支援の方法、災害エスノグラフィーについて理解し、事例を通して検討する
- ③ 災害につよい人づくり・まちづくり、地域文化の創成の方法について理解し、事例を通して検討する

【授業計画・授業内容】

オンデマンドと同時双方向型を組み合わせる授業を進行する。オンデマンドでは講義と共に課題を提示する。続く同時双方向型では課題レポート等を共有・討議する。

授業計画は以下のとおり。

回	方法・日程	内容	担当
1	オンデマンド 11/26	オリエンテーション 災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法①	宮崎
2	同時双方向型 12/3	災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法②	宮崎
3	オンデマンド 12/10	災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法③	宮崎
4	同時双方向型 12/17	災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法④	宮崎
5	オンデマンド 12/24	疾病・障害をもつ人々が災害時に抱える問題と中長期的な支援の方法、災害エスノグラフィー①	佐藤
6	同時双方向型 1/7	疾病・障害をもつ人々が災害時に抱える問題と中長期的な支援の方法、災害エスノグラフィー②	佐藤
7	オンデマンド 大学共通テスト 1/14の補講日ど こか1コマ	災害につよい人づくり・まちづくり、地域文化の創成の方法①	石橋
8	同時双方向型 1/21	災害につよい人づくり・まちづくり、地域文化の創成の方法①	石橋

(宮崎美砂子/4回)

災害サイクルにおける復旧・復興期の健康課題、コミュニティを単位にした持続的なアセスメント・分析に基づく組織的な支援体制づくりの方法について解説する。

(佐藤奈保/2回)

疾病・障害をもつ人々が災害時に抱える問題と中長期的な支援の方法、災害エスノグラフィーについて解説する。

(石橋みゆき/2回)

災害につよい人づくり・まちづくり、地域文化の創成の方法について解説する。

【授業外学習】

授業前：各回のオンデマンド授業で課題を提示するので、続く同時双方向型で他の受講者と共有・討議できるよう準備すること。

授業後：受講者は各授業回の終了後にレスポンスペーパーを提出する（「学んだこと・印象に残ったこと」

「授業の中で自分が取った役割」「疑問点・質問事項」)。レスポンスペーパーは受講者へのフィードバックに役立てると共に成績評価の一部に用いる。

【キーワード】 災害、復旧・復興期、中長期的支援、まちづくり

【履修上の注意・履修条件】

5 大学災害看護コンソーシアム科目として、千葉大学以外の学生が本科目を履修する場合は千葉大学の特別聴講生としての手続きを事前にとること。

【単位取得の基本要件】 授業全8回のうち3分の2以上（6回）以上の出席。

【評価方法】

- ・ レスポンスペーパー40%（授業参加の態度意欲を評価する）
- ・ 最終レポート 60%（修得した知識及び理解を論理的に説明する力を評価する）

※なお指定期日を過ぎてからのレスポンスシート及び最終レポートの提出は成績評価に反映できないので注意すること。

【参考文献】

必読文献は随時紹介する。

内閣府：令和2年防災白書 <http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r2.html>

國井修：災害時の公衆衛生 私たちにできること．南山堂、2012

林 春男，重川希志依，田中 聡：防災の決め手 災害エスノグラフィー，NHK 出版

石巻赤十字病院、由井りょう子：石巻赤十字病院の100日間，小学館

Christie W. Kiefer 著，木下康仁訳：文化と看護のアクションリサーチ，医学書院、2010.

矢守克也・宮本匠編：現場でつくる減災学，新曜社 2016

授業科目名	災害時専門職連携演習（災害 IP 演習） Disaster Inter-Professional Collaboration Exercise (Disaster IP Exercise)		
単位数	1	期別	後期
授業種別	演習	授業方法	集中・集合演習
講師名	酒井 郁子 1) 近藤 昭彦 2) 岩崎 寛 3) 濱 侃 3) 井出 成美 1) 臼井 いづみ 1)	所属	1) 千葉大学大学院看護学研究院 2) 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 3) 千葉大学園芸学研究科
オフィスアワー・場所	随時アポイントメント	連絡先	idenaru@chiba-u.jp
講義目的及び到達目標	【講義目的】災害の種類及び局面に応じた被災者中心の専門職連携を実践できる能力を獲得する。 【到達目標】 ・専門職連携に関する理論や知見をもとに災害の種類及び局面ごとに必要となる IPW の類型を理解できる。 ・災害時専門職連携を行う際に必要となる態度およびコミュニケーションスキルを理解し実際に行うための自己の課題を明らかにできる。 ・災害時に必要となる多機関との交渉、自組織の連携実践の構築、運営を行う力および評価・改善する能力を理解しシミュレーションで実践できる。		
講義内容・授業計画	【ねらい】災害の種類や局面に応じ、IPW (interprofessional work) が実践できるようになるための態度、知識、思考力、行動力を養う。発災から復旧・復興に至る過程で生じる様々な課題に対して、複数の専門分野の教員が協働指導のもと、複数の専門分野の大学院生がチームを組み、連携協働して成果を産出していく実践型授業により、専門職連携実践能力の向上をねらう。 【学習内容】災害の局面ごとに状況設定型図上演習を行う。デブリーフィングにおいて教員、協力者からのフィードバックをもとに被災者中心の災害時専門職連携、災害支援時の自己の IP 実践能力をリフレクションして、所属組織やチームのパフォーマンス改善のための課題を明らかにする。 Day1 オリエンテーション、講義「常総市の土地条件と災害」(近藤)、演習「災害対策本部の設営準備」「災害対策本部シミュレーション」 Day2 演習「災害対策本部シミュレーション」、講義・演習「ワークショップと合意形成」(岩崎)、演習「ワークショップの企画」 Day3 演習「ワークショップの実施」「コミュニティ再生プランの作成」「住民への説明資料作り」、全体デブリーフィング		
テキスト	特になし		
参考文献	平成27 年常総市鬼怒川水害対応に関する検証報告書 市町村の災害時意思決定体制改善に向けて～情報伝達・共有型図上訓練と支援システム～ 市町村の災害時意思決定体制づくり、環境と消防 4 (1)		
成績評価	事前に提示された課題に取り組み、ワークシートを提出する 20% 演習への参加状況 タスクの達成状況とチームワークの評価 50% 最終レポート 30%		

履修上の注意・履修要件	専門職連携実践論を合わせて履修しておくことが望ましい。 (コンソーシアム科目外)
備考	

赤十字概論Ⅱ（国際人道法含）

単位：2 単位 履修年次：1・2 年次 開講期：前期 科目ナンバー：HMCS102 / HNCS100

○角田 敦彦

■ 授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

■ 到達目標

- ・国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
- ・赤十字と国際人道法の基本原則、赤十字標章の正しい使い方等について理解し説明できる。
- ・人道と人権の概念の理解し、看護等の場で人間を尊重した行動を実践できる。
- ・学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

■ 学習の進め方

- ・講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。
- ・事前学習：各講義回の内容について事前に参考資料や HP を閲覧するなどして自分なりにまとめておく。
- ・実務経験を有する科目担当者が映像等も使用し、具体的な事例から学ぶ機会を提供する。
- ・授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。
- ・疑問への答えはグループワーク、自己学修により得よう努める。
- ・事後学習：授業中の議論や教員のコメントを振り返り、自分の課題を明確化する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について	講義	角田
2	国際赤十字・赤新月運動の歴史：19 世紀の社会と思想・アンリ・デュナンと赤十字の創設	講義	角田
3	佐野常民と日本赤十字社の創立	講義	角田
4	ICRC、赤十字社連盟、各国赤十字社 赤十字国際会議	講義	角田
5	日本赤十字社の組織と活動	講義	角田
6	国内外の災害と日本赤十字社の活動	講義	角田
7	赤十字運動の原則と人道支援	講義	角田
8	赤十字運動の基本原則の適用とその実際	講義・演習	角田
9	国際人道法の基礎知識：戦争の歴史と国際人道法	講義	角田
10	現代の武力紛争と国際人道法	講義	角田
11	赤十字標章の意味と適正使用の方法	講義・演習	角田
12	国際人道法の履行確保	講義	角田
13	世界の人道支援機関とその行動規範	講義	角田
14	日本赤十字社の国際活動の実際	講義	角田
15	グローバル世界と赤十字(まとめ)	講義・討論	角田

■ 教科書

授業の中で適宜資料を提示する。

■ 参考書、参考資料等

デュナン, H (1959). ソルフェリーノの思い出. 日本赤十字社
井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂
枅居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字. 東信堂
ピクテ, J (1979/2006). 解説 赤十字基本原則. 東信堂
その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

■ 他の授業科目との関連

災害看護学特講Ⅳ、Ⅴの基礎的な学習の一部となります。

■ 成績評価の仕方

①授業への取り組み 30 % ②試験又は課題レポートの提出 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

開講期間中の①水曜日 ② 12:30～13:00 ③ 410 研究室

災害看護学特講Ⅲ ※ CNS 科目

単位：2 単位 履修年次：1 年次 開講期：前期 科目ナンバー：HMD103

○内木 美恵、野口 眞貴子、菅野 太郎、舍利倉 幸香

■ 授業の目的

1. 人間の災害に対する認知や避難行動に影響する情報をふまえ、危機意識の視点から被災者特性について探求する。
2. 個人・家族・地域・医療機関における防災・減災、被害対応、備えに向けた支援活動能力を養う。
3. 災害サイクル静穏期の防災活動について災害看護の視点から、看護職として地域とどう連携してゆくかを探究する。

■ 到達目標

1. 人間が防災や被害対応時にとる行動を、人間の危機管理意識の構造から理解する。
2. 防災意識を高め、防災行動力を強化するための対応策を理解する。
3. 災害サイクル静穏期における看護の役割について、地域住民との連携から理解する。
4. 継続教育における災害看護コーディネーターの育成について、その要素、方法などについて理解する。

■ 学習の進め方

1. 人間の危機意識の構造については、認知工学システム論の科目内非常勤講師が 5 回担当する。
2. 地域防災の企画・運営については、本学と武蔵野市で共催している地域防災セミナーの中で行う。
3. 継続教育については、日赤 DMAT や看護協会が主催している災害支援ナースの研修、病院主催の研修について実態調査し発表する。
4. 災害看護コーディネーターの育成方法として、シミュレーションコンテンツの開発を行う。

履修のために必要な事前学習：授業前には各回の内容について調べてくる。

履修のために必要な事後学習：授業の復習をする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、災害の種類と個人・家族・地域・被災者の特徴	発表・討議	内木
2	危機の種類、危機対応の要素に応じた被災者の特性	発表・討議	菅野
3	人間が遭遇する災害発生時の危機と危機意識、反応	発表・討議	菅野
4	危機からの脱出、避難行動	発表・討議	菅野
5	避難生活において被災者の危険回避行動	発表・討議	菅野
6	看護職による災害看護の対象者にふりかかる危機の認識と対応	発表・討議	菅野
7	被災病院における看護職の情報・判断・行動	発表・討議	舍利倉
8	災害時の IPW インター・プロフェッショナル・ワーク I	発表・討議	内木
9	防災体制の基本、地域防災の意義、法律との関係	発表・討議	野口
10	地域防災の具体的な取り組みと看護の役割：地域住民及び行政との連携	発表・討議	内木
11	官民学で取り組む地域防災の実例	発表・討議	舍利倉
12	地域における指定避難所の備えのしくみ	発表・討議	内木
13	災害史・社会情勢の変遷からの防災対策と災害看護の役割	発表・討議	野口
14	大学防災・企業防災	発表・討議	内木
15	帰宅困難者に対する行政及び自主防災組織の対応	発表・討議	内木

■ 教科書

随時紹介する。

■ 参考書、参考資料等

1. 災害看護学特講 I,II の紹介参考書
2. 災害時における看護の力・組織の力 平成 24 年度版看護白書 日本看護協会 日本看護協会出版会(2012)
3. 防災・減災の人間科学 初版 矢守克也他 新曜社(2012)
4. 会社を守る防災マニュアルのつくり方 新版 山根義信 マネジメント社(2011)
5. 近畿災害対策まちづくり支援機構編 防災・減災・復興 Q&A: 大災害被災者支援の経験から東方出版(2018)東京
7. 大阪自治体問題研究所・自治体問題研究所編 豪雨災害と自治体 防災・減災を考える 自治体研究社(2019)東京
8. 酒井多加志 地図から読み解く自然災害と防災(減災) 近代消防社(2019)東京

■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーション、提出物のフィードバックは授業時あるいは授業終了後に行う。

■ 他の授業科目との関連

災害看護学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ 演習Ⅰ・Ⅱ

■ 成績評価の仕方

1. プレゼンテーションの内容 50 % 2. 課題レポート 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

水曜日

内木(406 研究室)、野口(403 研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・ 東日本大震災、2016 年熊本地震、2018 年西日本豪雨、2019 年東日本豪雨における中長期の被災地の変化、支援活動、防災・減災等について TV や新聞記事等から情報収集し、授業に臨んで下さい。
- ・ 授業の性質上、履修者数が多い場合は履修制限を行う可能性があります。
- ・ 授業日程は変更される可能性があります。第 1 回目講義の際に、確定した日程を提示します。